

第6回

北区リレーションシップ協議会会議録

令和元年6月13日

第6回 北区リレーションシップ協議会

開催日時 令和元年6月13日(木)

開会 午後7時00分～ 閉会 午後8時30分

出席委員(18名)

座長 東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科 齊藤 恭平

副座長 北区町会自治会連合会 薄井 哲夫

委員 日本スポーツ振興センターハイパフォーマンスセンター運営部 河村 弘之

委員 東京都障害者総合スポーツセンター 高山 浩久

委員 北区総合型地域スポーツクラブ れっど★しゃっふる 吉村 実花子

委員 北区総合型地域スポーツクラブ コミスポたきのがわ 大竹 秀樹

委員 北区スポーツ推進委員協議会 二村 正徳

委員 北区商店街連合会 尾花 秀雄

委員 東京商工会議所 越野 充博

委員 東京北区観光協会 大前 孝太郎

委員 北区文化振興財団 石山 泰史

委員 北区立小学校体育会 清水 勝一

委員 北区立小学校PTA連合会 森 健太郎

委員 北区立中学校PTA連合会 川染 誉

委員 北区青少年委員会 清水 恒明

委員 北区政策経営部長 中嶋 稔

委員 北区地域振興部長 関根 和孝

委員 北区教育委員会事務局教育振興部長 小野村 弘幸

欠席委員(6名)

委員 北区スポーツ大使 高橋 勇市

委員 北区スポーツ大使 上田 春佳

委員 北区スポーツ大使 石野 枝里子

委員 東京都北区体育協会 根本 貞義

委員 北区立中学校体育会 綿貫 正人

委員 北区青少年地区委員会会長会 鈴木 将雄

午後 7 時 0 0 分開会

【齊藤座長】 それでは、まだ集まっていませんけれども、時間ですので始めたいと思います。

本日は、皆さんお集まりいただきましてありがとうございます。座長の齊藤でございます。本日もよろしく申し上げます。

まず初めに、会の進行について説明いたしますが、本日の会議につきましても、議事録作成のための音声を録音させていただきますので、よろしくお願いいたします。ご発言の際には、事務局がマイクをお持ちしますので、そのマイクを使用してご発言をお願いします。

また、会議の活動記録の作成のため、写真を撮影させていただきますので、ご理解をお願いします。

また、この会議は公開の会議となりますので、傍聴を希望される方が会場に入ります。あらかじめご了承くださいと思います。

それでは、本日の資料について、事務局から確認をさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

【事務局】 事務局の東京オリンピック・パラリンピック担当の大熊と申します。よろしく申し上げます。

資料の確認をさせていただきます。お手元の席上にごございます資料、上から順に説明申し上げます。

資料 1 が、今回の構成員名簿でございます。

資料 2 が、本日の会議の席次表でございます。

資料 3 が議題の資料になります。

資料 3 は協議事項の資料で、東京2020大会に向けたオール北区での取組みです。両面印刷で3ページのものでホチキスどめしております。

資料3-1は、コミュニティライブサイトについて。

資料3-2は、東京2020ライブサイト等基本計画についての資料で、両資料とも片面印刷となっております。

資料4以降は報告事項となっております。

資料4は、その他の取組みについてで、片面1ページとなっております。

資料4-1は、東京2020大会1年前記念イベントの開催についてです。両面になっております。

資料5が、桜ウォーク2019・東京2020大会500日前記念イベントのご報告で、北区のホームページの資料を印刷したもので、片面の3ページとなっております。

なお、今回、東京商工会議所様より、全国商工業者による2020年に向けた決起大会の資料、東京2020PRステーションのチラシ及びオーストリア・ハンガリー交流・視察会のチラシの資料がございます。

東京都障害者総合スポーツセンター様よりは、7月28日にリニューアルイベントが開催されるイベントの開催チラシでございます。

また、東京都北区町会自治会連合会の主催で、6月16日に行われるイベントで、「町会・自治会ってなあ〜に？」のチラシもございます。

最後に、クリアファイルのものなんですけれども、昨年、30年度に東京家政大学の学生さんがデザインしたクリアファイルの3種類のうち1種類をお渡ししております。

この中には、オリ・パラのピンバッジ、ラグビーワールドカップのピンバッジ、北区がトップアスリートのまち・北区を啓発するために制作したボトルホルダー、ボールペン、ハンドタオルが入っております。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた北区の取組方針のリーフレット、ハンガリーの事前キャンプ周知のチラシ、地域情報アプリの周知のチラシが入っております。

以上でございます。ない方はいらっしゃいますでしょうか。

それでは、座長に返します。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

本日も協議会を活発にご協議のほうをお願いしたいと思いますが、先日、チケットの販売も開始されまして、皆さん、いかがでしょうか、お申し込みのほうはされましたでしょうか。私も開会式を中心に6種目くらいインターネットで自由にやっていたら、結果的に全部足したら20万円くらいになってしまいまして、当たればの話ですけれども、20日に発表されますが、楽しみなところですが、いよいよ1年前のイベント等も目の前に来ておりますので、さらに皆さんで盛り上げていければなというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。

今回、副座長の方が新しくかわって着任されましたので、副座長の薄井さんにご挨拶をお願いいたします。

【薄井副座長】 改めまして、こんばんは。北区町会自治会連合会副会長の薄井です。よろしく申し上げます。

今回これが初めての会合に出席したんですが、オリンピックに向かって本格的な行事ができるといいですが、皆さんと楽しんでいきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

それでは、今回、年度がかわりまして、新しく委員に着任された方もいらっしゃいますが、お互い顔合わせが初めてなものですから、一通りぐるっとご挨拶をしていただきたいと思いますが、いない方もおりますが、飛ばしながらということで、高山さんから。

【高山委員】 都内にあります東京都障害者総合スポーツセンター、東京には2つあって、国立市にあるスポーツセンターと、私ども、2つのうちの1つです。

この7月28日に、ようやく全館のフルオープンになります。今、外部施設のテニスコートと運動場の工事をしていて、ほぼほぼもう完成していて、7月28日、きょうチラシをお配りしますが、開所式となりますので、どなたでも参加できますので、もしよろしかったらお越しいただければと思っています。よろしく申し上げます。

【吉村委員】 北区総合型地域スポーツクラブれっど★しゃっふるからまいりました吉村

と申します。よろしくお願いいたします。

【二村委員】 北区スポーツ推進協議会で会長をしております二村と申します。よろしくお願いいたします。

【中嶋委員】 北区役所の政策経営部長の中嶋と申します。よろしくお願いいたします。

【清水（恒）委員】 北区青少年委員会の会長の清水と申します。よろしくお願いいたします。

【川染委員】 皆様、初めまして。北区立中学校PTA連合会で、本年度会長をやらせていただいております川染誉と申します。

北区には、区立の中学校が12校ございまして、そのこの連合ということで代表でやってまいりました。どうぞよろしくお願いいたします。

【清水（勝）委員】 北区立小学校体育会からまいりました清水と申します。よろしくお願いいたします。

【石山委員】 北区文化振興財団事務局長、石山でございます。よろしくお願いいたします。

【越野委員】 東京商工会議所北支部会長の越野でございます。よろしくお願いいたします。

【尾花委員】 こんにちは。北区商店街連合会の尾花と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

【齊藤座長】 せっかくですから、事務局も。

【事務局】 皆さん、こんにちは。今年の4月から、石丸の後任として着任しました、東京オリンピック・パラリンピック担当課長の上里と申します。よろしくお願いいたします。

なお、本日、前任の石丸もぜひこちらにご挨拶させていただきたいということでしたが、ちょっと別件の会議がございまして、皆様には大変お世話になりましたということで、お伝えくださいということでした。ただ、職場で言うと隣のスポーツ推進課の課長をしておりますので、また引き続きよろしくお願いいたしますということでしたので、お伝えさせていただきました。

引き続きまして、職員を紹介させていただきます。

【事務局】 担当主査の大熊と申します。よろしくお願いいたします。

【事務局】 主査の白川と申します。よろしくお願いいたします。

【事務局】 担当の藤井と申します。よろしくお願いいたします。

【事務局】 担当の藤原と申します。よろしくお願いいたします。

【事務局】 よろしくお願ひいたします。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

では、議題に入ってまいりたいと思いますが、次第を見ていただきますと、今回から協議事項と報告事項というふうに分けて項目ができておりますので、項目の内容に関して、事務局のからご説明願ひます。

【事務局】 それでは、本日の次第全体の流れについてご説明させていただきます。次第を確認ください。

3番、協議事項、3件ございます。4番が報告事項、大きく分けてこの2つ。そして、最後に各団体・機関からの報告ということで、皆様からの情報提供と活動報告等をいただきたいと、大きく分けてこの3つでございます。

そして協議事項、3件ございます。この後、順番にご説明させていただきますけれども、今後、来年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けまして、区としましても、各種行事、取組みを予定しております。その中で、オール北区で、やはり取り組んでいかねば地域の活性化等、大会後のレガシーにもつながらないということもございます。行政として、あくまで主体は行政というところもございますけれども、計画段階から皆様方のご意見をいただきながら進めていきたいというところで、本日、議題3の1、2、3につきましては、事業概要案をお示しさせていただいて、今後、実施計画の詳細を詰めていく段階では、事務局レベルも含めまして適宜ご相談、調整させていただきたいということで、協議事項3番と設けさせていただきました。

以上でございます。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

それでは、早速、順次協議してまいりたいと思いますけれども、まず、協議事項の1番目は、オール北区の取組みに関係する部分で、まず（1）番、コミュニティライブサイトの実施ですね、これに関して事務局のご説明願います。

【事務局】 それでは、資料3をお手元にご用意ください。

資料3、協議事項でございます。

東京2020大会に向けたオール北区での取組みということでございます。

概要でございますが、残すところ1年余りとなりまして、気運醸成や地域活性、レガシーの創出に向けて、東京2020大会関連事業、北区の組織内外を問わず、区全体、オール北区で取り組むという内容でございます。

（1）番、東京2020大会コミュニティライブサイト実施（案）についてでございます。

こちらは、コミュニティライブサイトということをまずご説明させていただきますので、資料3-1をご覧ください。カラー刷りのA4横のものでございます。

全てご説明しているとお時間がないので、2番の、左の一番下のところ、写真があるところをご覧ください。

コミュニティライブサイトですけれども、従来よく行われていたのが、競技中継を行いますパブリックビューイングというものがございました。今回、オリンピック・パラリンピックにおきまして、コミュニティライブサイトというものが各自治体で実施できるというものでございますが、内容につきましては、従来のパブリックビューイングの競技中継に加えまして、会場の装飾、デコレーションですね、こちらや、ステージイベント、競技体験や主催者の展示、飲食の売店等、トータル的なイベントというものでございます。

なお、こちらをやる意義と一般的に示されているものでございますが、右の4番のところをご覧ください。

丸が3つありますが、2つ目と3つ目になります。こちらを実施することによって、地域の方々や子供たちが参画できると。参加したことによる、一緒に成功させた記憶という

ものが個人の記憶、感動、自信、心のレガシーとつながるというものが基本となっております。区としましても、こういったものを地域の皆様方と一緒に作り上げて大会当日を迎え、そしてその後にもつなげていきたいなと思っているところでございます。

そして、参考ということなんですけれども、資料3-2をご覧ください。

同じくカラー刷りの横のものでございますけれども、東京2020大会ライブサイト等基本計画についてという資料でございます。

こちらが、今ご説明させていただいたものと同じかと思われるんですけれども、こちらにつきましては、東京都と大会組織委員会が大々的に実施するものでございます。

2番の会場の概要の青い網かけのところをご覧くださいとおわかりになるかと思うんですけれども、都内の大規模な公園であったり、都庁の庁舎であったり、そういった大きなところでやるものというものでございます。

そして、左の一番下ですね、ちょっとカラーでアンダーラインを引かせていただきましたけれども、こちらについては、先ほどの地域の方々が参加するというコミュニティライブサイトとは違いまして、国内外から訪れる観光客等を広く受け入れるというような趣旨で行うものでございますので、右の4番の来場者想定というところ、一番至近というところでここを赤く囲わせていただきましたが、今、再開発で事業中の池袋西口公園、こちら、1日当たり5,000人規模の集客を見込んでいると。その他、代々木公園であったり、そういったところにつきましては3万5,000人等、国内外からのお客様をおもてなししながら盛り上げていくというものでございますので、あくまでも、よくこういったものはテレビとかで報道されるかと思えますけれども、今回、オール北区でやっていきたいというものはコミュニティライブサイトということで、地域住民の方をターゲットとしたものということでございます。

それでは、資料3にお戻りください。

このコミュニティライブサイトの実施（案）でございますが、①実施概要（案）でございます。

実施期間でございますが、オリンピック開催期間及びパラリンピック開催期間の全期間を予定しております。

会場につきましては、北とぴあ、さくらホールであったり区民プラザを活用させていただきたいというところでございます。

内容でございますが、実施期間中、全ての期間におきましては、北とぴあ1階のロビー、区民プラザのところで競技中継、そして会場装飾を行っていききたいなと思っております。

こちらなんですけれども、基本的には常設を想定しております。米印のところにもございますけれども、北区ゆかりのアスリート、企業様に所属しているアスリートの方が大会に恐らく参加されて、ご活躍されるかなと期待しておりますので、そういったところの壮行会であったり、好成績を収めたら祝勝会のような形の報告会、いろんなものを想定して常設とさせていただきたいなというところでございます。

なお、開会式の前にも、22日、23日ということで復興五輪として競技がございますが、こちらをあわせて中継していききたいなど。こちらが常時開催したいというものでございます。

そしてその下、オリンピックの開会式が7月24日でございますが、この日のみ、今まで北区でもカウントダウンイベント、1,000日前、2年前、500日前等やっておりました。それで、開会式当日をカウントダウンゼロ開幕イベントとしまして、この日だけ大々的に大きなイベントをやりたいなという趣旨でございます。従いまして、会場はこの日のみ、さくらホールを候補として、現在、検討しているところです。さくらホールでステージイベントを行い、引き続いて開会式の中継を行うと。それに合わせまして、区民プラザでは展示や競技体験、会場装飾、そして屋外では飲食売店等を行いまして、北とぴあ全体で盛り上げていくと。

そして、開会式の中継でございますが、まず、メインとなってくるのはその前のステージイベントであったり区民プラザでのイベント、それが終わりますと、開会式が20時から開始ということになっていきますので、そのイベントに参加された方、引き続きさくらホー

ルの会場をあけておきまして、大規模なステージ上のスクリーンで、高性能のプロジェクターで投影するというような形で一緒に開会式を見ていただいて、これからの大会の気運を盛り上げていただくというような趣旨でございます。

こちらのオリンピックの開会式を中継しますから、その前のステージイベント等、こちらで北区ゆかりのアスリートの競技日程であったり、これまでの取組みとか、そういったものを大々的にPRすることによって、24日の翌日からフェンシングとかテコンドーとか、いろいろな競技が順次開催されていきますが、こちらにも北区ゆかりのアスリートが恐らく出場されるため、北区ゆかりのアスリートと一緒に応援するという事で、一体感、地域活性化にも少し貢献したいなど。こういったイベントをカウントダウンゼロイベントということで行いたいなというものでございます。

1つ、ちょっと注意事項というかお願いがございまして、今後、皆様方と協力しながらつくり上げていきたいなというところではございますが、☆印のところ、「東京2020大会のブランド等に配慮しながら」という形なんですけれども、なかなかここが、ブランド保護、要するにスポンサーさんへの配慮というものが、今回の大会につきましては非常に厳しくて、主催はあくまでも自治体、北区ということなんです。

例えばなんですけれども、出店とかご協力いただいた際とか、展示とかにご協力いただいた際に、ダイレクトに企業名であったり団体名というのが掲出、露出できないなどと、なかなか大会に直接的なイベントということもあるんでしょうけれども、そういったPRが、なかなか団体さんでしにくいというものがございますので、こういったところは今後ガイドラインが、詳細なものが組織委員会から示されてきますので、そちらをしっかりと明示させていただいた上で、そこもご理解いただいた上で、オール北区で進めていきたいなというところがございますので、詳細は今後、事務局レベル等でもしっかり説明させていただきたいなと思っております。

2ページ目をご覧ください。

②ということで、経緯等を記載させていただきました。こちらは、本日に至るまでの簡

単な経緯をご紹介させていただきます。

5月上旬に、地域連携・魅力づくりと発信、作業部会の開催とありますが、こちらは北区役所の内部の組織でございます。北区長を長としましたオリンピック・パラリンピックの推進本部という全庁的な組織がございますが、その具体的な作業をしていくというもので、その下に専門部会、さらにその下に作業部会とございます。そういうところを5月上旬から、あくまでも庁内の調整及び意見交換をさせていただきました。

その後、5月中旬以降、北とびあの指定管理者さんでしたり商工会議所北支部さん、観光協会さん、商店街さん等々、事務局も含めまして、細かいお話を事前に説明させていただいたというところでございます。

6月6日には庁内の管理職レベルの専門部会であったり、11日には推進本部の本会を開催したというところで、まずは庁内の中での、あとは関係団体の事務局レベルでの説明等はさせていただいて、本日に至るという経緯でございます。

そして6月28日、すいません、③番の実施申し込み以降の予定をご覧いただければと思うんですけども、今回お示しさせていただいた実施概要（案）、このレベルの内容をもちまして、実施申込書というのを組織委員会のほうに今月の末までに出さなければいけないというものでございます。従いまして、まずは実施概要（案）ということで出させていただきます。この9月ごろに今度は実施計画書提出というのがございます。この実施計画書というところで、もう少し詳細なものを組み立てていきますので、この6月末から9月までの間で、皆様方とどういったところでご協力いただけるかというところを計画をつくっていききたいなというところでございます。それ以降のスケジュールについては、お示しのとおりでございます。

事務局からは、まず（1）ということで、ご説明は以上でございます。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

では、（1）に関して、ご意見等を頂戴したいと思いますが、いかがでしょうか。

もう既に庁内での意見交換は終わって、いわゆる庁外のステークホルダーの方々との協

議も済んでいるという段階で、その上でのここでのお示しということだろうと思いますが、いかがでしょうか。

お願いいたします。マイクをお願いします。

【越野委員】 ちょっと進め方について、もう少し詳しく、もしわかる範囲であればと思うんですが、例えばステージイベントであったり、競技体験であったり、それから飲食の売店とかということで、それぞれの作り込みというのをするのに、通常こういうものというのは、これそのものの実行委員会を組織して、役割分担をしていきながらということになると思うので、その辺が、公的な実施申し込み以降の予定というところの中で、どういうタイミングで入ってくるのか。

まさにオール北区というお話だとすれば、例えば競技体験みたいなものも、今はちょうど体協が理事会をやっていますけれども、体協さんにも何かやっていただくということもあるかもしれないし、まさにオール北区づくりみたいなのをどういう形で進められるのか。個別にもう飲食はどこどこ、例えばですよ、競技は体協とかって決めて、役所のほうでやっていくということなのか、それとも横串みたいな形で、ある程度その協議をしながらやっていくということなのか。

僕は、ある程度後者のほうが、縦割りにやっていかないほうがおもしろいものになるんじゃないかなという気がするんですけども、その辺がもしわかれば、大体こんな雰囲気という程度で結構なので、お知らせいただけますか。

【齊藤座長】 事務局、お願いします。

【事務局】 ただいまご質問いただきました今後の運営の仕方というところでございます。

ご指摘いただいたとおり、二通りの方法が、大きく分けてあるかと思っております。1つ目は、今ご指摘いただきました、行政のほうである程度の計画を皆さん方とつくって、ここはどここの団体という形でお示しするというもの。もう一つは、まず、どこの団体が何をやるというのも含めて実行委員会を組んで、詳細を詰めていくというもの。

あくまでも事務局の現段階のイメージということでお聞きいただければと思うんですけど

れども、9月の実施計画書を提出させていただくんですけれども、まずそこまでの間で、実行委員会というものというよりは、ある程度どういったものを、内容ですね、どういったものをイベントとしてやっていくかというのを意見交換を随時しながらやっていきたいと。その経過を含めまして、最後に、最後というか来年の5月ごろ、もう直前になってくるんですけれども、そのころに運営計画書という、より具体的なものの提出をします。その中で、恐らくそういった9月までの意見交換の中で、どういったやり方が皆様にとっていいのかというところも踏まえて、実行委員会形式にするのかどうかというところは、9月の計画書をつくる段階で、意見交換も含めて、そこも考えていきたいなと思っております。

【齊藤座長】 よろしいですか。

【越野委員】 そのタイミングというのは、5月に運営計画書を出すだけで、今の10月から5月までの間のしかるべきところで結論を出して、当然、5月の運営の細かいものを出すまでの間に、まず、いろんなやり方でやっていくと、こういうことですね。

【事務局】 はい。それで実質的に、例えば実行委員会というものを立ち上げることが可能かと思うんですけれども、例えば、いわゆる主権が基本的には自治体となっているので、実行委員会が主催というふうにする場合については、まだ実際、詳細なガイドライン等が出ていないので、そこにつきまして、対外的にどういった形で主権を打っていくか、そのところにつきましては、今後、多分詳細なガイドライン、権利保護の関係もございますので、その中で考えていきたいと思っております。

いずれにしても、実質的に実行委員会というものを立ち上げるかどうかということにつきましては、必ず検討させていただくということでございます。

【越野委員】 ありがとうございます。

【齊藤座長】 よろしいですか。

【越野委員】 はい。

【齊藤座長】 越野委員さんのおっしゃるとおり、こういったものというのはインターセ

クトラルな動きというのが重要なので、そこら辺の横串的な役割を、ぜひ事務局が担って
いかなければならないというふうに思いますが、ほか、ございませんでしょうか。

特段ないということであれば、この内容にて了承だという形になりますけれども、よろ
しいですか。

ありがとうございます。

では、(2)の協議事項にまいります、(2)はラグビーワールドカップ、3カ月後
に控えています、2019日本大会パブリックビューイングの実施についてということで、こ
ちらのほうも事務局から説明願います。

【事務局】 それでは、説明させていただきます。

また引き続きまして、資料3をご覧ください。

(2) ラグビーワールドカップ2019日本大会パブリックビューイングの実施(案)につ
いてでございます。

ラグビーワールドカップ、この9月20日に開幕するものでございますが、こちらを既設
のモニターで中継をしながら応援して、大会への気運を高めていくと。また、来年のオリ
ンピック・パラリンピック競技大会への課題の整理等にもつなげていくというものでござ
います。1番でご説明させていただきましたコミュニティライブサイトでございますが、
そういったところへの課題の整理にも活用させていただきたいというものでございます。

実施概要(案)でございます。

実施日、こちらは日本代表戦のプール戦、予選リーグの4試合を予定しております。

日程につきましては、お示しの4つの試合でございますが、会場でございます。現時点
で会場候補として検討しているのは赤羽体育館と北とぴあ、北とぴあの1階の観光協会
さんの展示ブースをお借りして、どうかなと考えているところでございます。

内容につきましては、こちらはコミュニティライブサイトのような形ではなくて、競技
中継と会場装飾、その2点を予定しております。中継する際には、既設の大型モニターが
ございますので、そちらを活用させていただくというものでございます。

そして、9月28日、土曜日でございます。こちらは16時15分が試合開始となっておりますので、ここをラグビー教室、北区のトップアスリート直伝教室で人気非常高的ラグビー教室との連動企画をすることによって、少し大き目のイベントにしたいかなと。イメージとしましては、連動企画ということですので、お昼過ぎからラグビー教室を行って、講師の方と一緒に、その後、代表戦を観戦して応援していくというものでございます。

なお、単純に試合だけ見るというよりは、MCを入れたりとか、盛り上げるというところも、来年に向けていろいろ試していきたいなと思っているところでございます。

最後、☆印でございますが、東京2020大会同様、ラグビーワールドカップも多額のスポンサーさんの協賛金で成り立っているということもございまして、こちらも一定程度のブランド保護というものがございますので、こちらも注意しながら、9月20日ということで期間があまりないので、先ほど越野委員からもご提案があった実行委員会形式というのはなかなか、規模もちよっと小さいところでもあるので、実行委員会形式ではなくて、順次それぞれの団体さんでご協力いただいて、ご相談させていただきながら計画をつくってきたいなと思っていますので、よろしく願いいたします。

(2) 番につきましては以上でございます。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

では、ただいまの(2)の協議事項に関して、ご意見、ご質問等をお願いいたします。いかがでしょうか。

お願いいたします。マイクをお願いします。

【越野委員】 今、実行委員会とかという話にも触れていただいたんですけども、当然これは、このぐらいの時間になってしまいますと、もう基本的にはオリ・パラのほうでやっていただいてということになると思うんですが、逆に今の時間帯というのは、じゃ、これはどういうふうに広報していくのか、30とか40とかぐらいのレベルにしても、せっかくやっても、何かぼつり、ぼつり、何やっているんだろなじゃしようがないわけだから、

じゃ、これを実際ラグビーワールドカップの広報と連動しながらどういうふうにするのか、それから各区内関連団体を通じた広報みたいなものをどういうふうにするのかとか、それからなかなか難しいんですけれども、イギリスのあの楽しい雰囲気で見るとすれば、じゃ、飲み物ぐらい持ち込んでやっていいのかとか、そういうようなことも含めて、もう本当につくり込むところだと思うんですよね。

主には、多分、我々区内団体が請け負わせていただくのは、その広報をどういうふうにするんですかということだと思うんですね。今までのこの会合でも言いましたけれども、今のこういう時代だし、こういう小さなイベントの場合には、特にSNSなんかで拡散をしていくことでとか、この間、私もちょっと台湾映画のイベントをちらっとやったんですけれども、区内の方が見に来ていただくというよりは、この映画、実は見逃していたんだよということで、台湾映画マニアの方がSNSの情報なんかで来ていただいているという方の比率が極めて高いわけです。そうすると、このラグビーの関心度というのは、この区内でどのくらいあるのかわからないけれども、そういうふうに、じゃ、そういう雰囲気のところ、楽しそうな雰囲気のところだな、そこに行って見に行こうかみたいな人に来てもらうというのも、「住めば、北区」のおもしろいところだねというふうにわかっていたくことには役に立つわけだし、だから、その辺の広報とか広告とか、そういうのをどうしてやっていくのか、そして、こういう方法だったら許されますからやってくださいというようなことで我々のほうにご指示をいただければ、我々がまた個人の仕方であったり、団体の仕方であったりということで広めていくとか、個々にラグビーの好きな友達にお知らせするとかというようなことにもなっていくんだと思うんですよね。ぜひそこはしっかりやっていただきたいなと思いますね。

これはお盆が挟まると、すぐですからね、もうこれは。お盆前には全部結論が出て、どうやっていくという話でスタートを切っていないと、間違いなく時間おくれになりますから、そうすると、もうあと2カ月ないよという話ですよね。ぜひその辺を加味していただければと思います。

【齊藤座長】 その辺、事務局、具体的なつくり込みの、いわゆる広報的な戦略とかはお持ちでしょうか。

【事務局】 広報活動につきまして、従来からなかなか区からの広報活動の力がちょっと弱いというご指摘はいただいていたところでございます。

そして、この後ちょっとご説明はさせていただくんですけれども、また8月4日に1年前イベントというのを企画しておりまして、この8月4日のイベントに際しまして、今ちょっとSNSを有効に活用しようということで、フェイスブックで段階的にPRというようなことを試しに行っていたりというところでございます。

早速その広報活動によって、地域の団体の方からお問い合わせをいただいて、私たちもこういうのをやってみたいんだけど、どうしたらいいですかとかいうような話もいただいていたたりもするので、いろんなツールがあるかと思います。役所、行政だけだと、やはりなかなか狭いというところですので、今、委員にご指摘いただきましたように、皆様方のご協力をいただくというところ、特に広報活動につきましては多分のお知恵を拝借したいなと思っていますので、広報活動につきまして、特に来年のコミュニティライブサイトに向けての広報活動というところの課題の1つかなと捉えていますので、ご協力、ご支援をいただければと思っております。

【齊藤座長】 やはり越野さんがおっしゃったように、従来の行政の、やっぱり動員をかけるというような、そういうやり方ではなく、本当に見たい方だとか、来たい方々が来るような、そのための情報提供という。

特に、9月から10月13日までということで、日にちが何日かありますので、事前の広報も必要でしょうけれども、おもしろくやっているというような姿を広報していただいて、ぜひSNS等で広めていただくと、何かおもしろい要素があることで、また皆様来るでしょうし、そういったことが必要かと思えます。

【事務局】 今、SNSという話なんですけれども、今回、ラグビーワールドカップのパブリックビューイングをするに当たっては、会場装飾をします。こちらは実はしなければ

いけないというところもございまして、会場装飾するに当たって、いわゆるインスタ映えするようなもの、会場装飾もそうですけれども、応援を盛り上げるようなもの、そこをいかにしていくか。それをタイムリーに発信していただくことによって、4試合ございますので、そういったところにも期間中にもつなげていきたいなと思っておりますので、できる範囲がどこまでかというところもございしますが、精いっぱい頑張っていきたいと思っております。

【齊藤座長】 どうぞ。

【越野委員】 そのできる範囲という話で、今そうやって、すごくこういう話で楽しくなってくるんだけど、例えば、じゃ、ロシア大使館、サモア大使館、スコットランドに行って、これをやりますよというのを、役所の人でもいいと思うんだけど、日本のラグビーの、日本に来て、私、行きますとかというのをインスタに載せますとかというような展開で、おもしろいじゃんという話になっていくんだと思うんですよ。別にロシア大使館に行って、ロシアの人がわざわざ北とびあまで見に来てくれるかどうかは、これはわからないし、多分見に来てくれないかもしれないけれども、その景色が、もうものすごい世界中の人が見ると。しかも、それで、例えばロシア人も見るようなサイトにぶつけていけば、本当に世界中の人が見るんだという話になるわけじゃないですか。それで日本頑張れ、ロシアも頑張れみたいなので、ロシアのほうで書いてありますみたいな形にしたらとかね。

だから、そういう本当に自由なことが今いろいろできると思うし、きょう観光業界の皆さん見えているけれども、音無親水公園のライトアップだとか、ああいうのもまさにそのやり方でやっているから、桜のランキングで、飛鳥山と音無親水公園のランキングが東京で2番と3番で、あそこがなったわけで、やっぱり若い人たちがメンバーにいるんだから、遊びながらやったほうが良いと思うんですよ。プライベートでは、もう僕らなんかよりもよほどそういうことを多分やられていると思うので、自由にやっていただいたら物すごくいいものになる、おもしろいものになると思いますけれどもね。

【齊藤座長】 事務局、お願いします。

【事務局】 楽しみながら、かついろんな団体と協力しながらやっていきたいなと思っていますので、職員の力を引き出して、頑張っていきたいと思います。

【齊藤座長】 尾花委員。

【尾花委員】 このラグビーとオリ・パラの幅広く広報をするということで、前回は話しましたがけれども、東京都の商店街連合会から、都のほうから予算をいただきまして全商店街、23区、それから36市、島部も混ぜまして、手を挙げたところは全部フラッグを、取りつけ、取り外しも含めまして応援していくというような形をとらせてもらっています。

始めるのは、ラグビーのほうは6月末から7月の初旬に各商店街の街路灯に飾られると思います。それが終わりました、11月からは2020のほうで飾りつけするというので、約8億といいましたか、何か予算が出まして、それは、要するに東京都商店街連合会のほうの話なのでこちらには余り来ていないんですけれども、気運を上げるということは、周りからそういうようなお手伝いをできるということはありません。

【事務局】 ご紹介ありがとうございます。

今、ご案内いただいたとおり、直接的に我々オリ・パラ担当課が施行しているというわけではございませんけれども、今回で言うと商店街の中にラグビー及び2020大会のフラッグが掲揚されていくというところで、いろんな形で、いろんなところからのアプローチで気運醸成が図られていくかなど。それが点で終わらないように、いかにオール北区で盛り上げていくかということにも注意しながら、情報を集めながら進めていきたいと思っています。

よろしく申し上げます。ありがとうございます。

【齊藤座長】 そのほかいかがですか。

【清水（恒）委員】 ちょっと聞きたいんですけれども、ラグビーというのは大体2時間ぐらいかかるスポーツですよね。45分、45分の15分休みぐらい。そうすると、これは7時、8時ごろからやって、10時ごろ近くになりますよね。私、青少年の健全育成もやっている関係で、ここに例えば親子で来いというようなことはできると思うんですけれども、ちょ

っと遅い、北とぴあにしても10時まで、これは延長戦とかはあるんですか、どうなるのかなど。

【齊藤座長】 ラグビーは延長戦はないですね。

【清水（恒）委員】 ないんですか。ちょっと子供にこれを見に来させるというのは、ちょっと難しいかなというような気がします。

【齊藤座長】 その辺の考えはありますか、事務局。

【事務局】 今、ご指摘いただいた終了時間の問題ですけれども、今回、ワールドカップにつきまして4試合ございます。うち、基本的に子供を対象としたものと考えているのが、28日、土曜日、16時15分から、夕方から始まるものです。したがって、ここにタグラグビー教室を連動させて実施をします。そうしますと、ちょうど北区の花火大会が18時半から打ち上げ開始ということもございますので、1日を通して多様なイベントということで、お子様をターゲットとしましては28日を考えております。

それ以外には、具体的に子供どうこうというところまでは考えていないんですけれども、終了時間も加味しながら、広報活動を含めて、ターゲットをしっかりと絞りながら進めていきたいと思っております。

【齊藤座長】 よろしいですか。

そのほか。

どうぞ。

【二村委員】 スポーツ推進の二村です。

私たち、スポーツ推進委員の中では、東京都のほうの報告書等で、みるスポーツ、支えるスポーツ、するスポーツ、順番は違いますが、そのうちのみるスポーツというのうちに今回のものが入るかと思うんですが、実際、自分自身も含めて、日本人にみるスポーツという文化が本当に定着しているかどうかというふうに思うと、私自身は、みんなでスポーツを見るというのは、もともと全く考えていなかった人間です。

ただ、ここ数年でおもしろかったと思うのは、この会場でスポーツ推進委員全体会

があって、その帰りに——が——い飲食店に入りました。9月の終わりぐらいだったと思うんですけども、たまたま日本シリーズの中継をやっている、たしか広島と日ハムだったと思います。なぜか両サイドに、何となく手前のほうに広島の人、向こう側が日本ハムのファンの人というような空気感があって、見ていてとても楽しかったんですね。そういう場に足を踏み込むのも初めてでして、大画面でみんなで見ながら、得点が入ればみんなで「ウォー」と喜ぶと。それで、隣の知らない人と乾杯し合うとか、もしかしたらこういう雰囲気というのがロンドンのパブでスポーツを見ている雰囲気なのかなってそのとき思ったんですね。

なので、そういった体験を少しでもすると、パブリックビューイングに行くと、もしくは今回のイベントに行くと、知らない人たちもいるけれども、みんなで楽しめるんだというふうに思えると思うんですね。ただ、このハンガリーと、今回のこの回数だけやるとどうぞお越しく下さいといっても、そういう文化がない人たちが来るかどうか。なので、そういう体験をここへ行けばできますよといったことも、もう少し、区内でここでもできますよとか、私、少なからず王子で3軒、4軒、それからここでもできるんだと、こんな小さいお店でも、こんなに大きな画面があって、みんなでワールドカップが見られるんだとか、そういったことはこの4、5年の間に随分と経験してきて、みんなで見る楽しさというのがわかってきたんですね。

ただ、まだまだそれがわかっている方は少ないのではないかなと思うので、この当日の流れの伏線というか手前で、何かそういうスポーツをここに行けば見られますよと、みんなで楽しめますよとかというような、何か動きもあっていいのかなという。簡単に一覧表みたいなのをつくってみてもいいと思いますし、ホームページに挙げていただいてもいいと思いますし。ただ、やはり身近なところで、こんなお店で見られたんだというのが、やっぱり知らないということもあると思うんですね。先ほども越野さんからもお話ありましたとおり、スポーツを見ながらお酒を飲むのはとてもおいしいです。ただ、北とびあの中で飲めないのであれば、じゃ、こちらでどうぞというのもありかなというふうに思います。

ちょっと一案というか、提案といいますか、以上でございます。

【齊藤座長】 事務局、お願いします。

【事務局】 貴重なご意見ありがとうございます。

まさに、そういったみるスポーツというところが、あまり北区内だと、私の知る限りはあまり情報が、ちょっと役所のほうにもないのかなというところがございました。

今お話しいただいたような一覧をつくる程度とか、一覧、もしくはSNSも含めてそうですけれども、最終的には地域の活性化、まちが元気になるような取組みにしていきたいと思っていますので、今いただいたご提案を含めまして、随時いろんなお知恵があれば、教えていただければと思っていますので、どうもありがとうございます。

【齊藤座長】 いいですか。

【越野委員】 今の話って、例えば、僕、すごく今おっしゃったこと大賛成なんですけど、実際には役所がやっちゃうとまずいということあるんでしょう。だって、要は、店で勝手にテレビを流しているのを見に行きなさいというのは、やっぱりまずいよということがあるわけじゃないですか。だから、まさにそれが実は連携で、そこはもう役所は離れていただいていいと思うんですよ。

だから、例えば東商側だったらそれでいいよと、しかも、オリンピックで当てますよというんじゃなくて、テレビモニターのあるお店がこれだけいっぱいありますよというのを東商の責任で流すんだったらオーケーですよとか、商店街の責任で流すんだったらオーケーですよとあって、ただ、それが何となくオリ・パラのやられるところに置いてありますよって、これは議事録に残すとまずいと思うけれども、そういう知恵って、絶対オール北区でやろうと思ったら必要だと思うので、今のも聞いて、そうですねじゃなくて、それでできないじゃなくて、ぜひ、そういう議事録に残らないような知恵というのも、ぜひ出し合いましょうよ。そうすると、すごくおもしろいと思いますよ。今のおっしゃるとおりだと思うんですよ。まさにイギリスのパブの雰囲気、日本の居酒屋でも見られるはずなんです。そこにイギリス人でも来ちゃったら、おもしろいじゃないですか。

【齊藤座長】 私も、二村委員さんがおっしゃったように、スポーツを見ながらの酒は最高なので、それは大賛成だったので。

本来的な協議ということと言うと、ちゃんと話し合いながらやれると一番いいかなというふうには思いますが、議事録に残すか、残さないか……。

【越野委員】 頭に刻み込んで……。

【齊藤座長】 ほかにございますか。

特になければ、宣伝、広報等の仕方の難しい部分はありますが、一応、この内容での作り込みということで、お認めいただくということでよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

では、次に、協議事項3番目にまいります。ハンガリーイベントの実施について、こちら事務所に説明願います。

【事務局】 それでは、(3)ハンガリーイベントの実施(案)についてでございます。

資料3の3ページ目をご覧ください。

東京2020大会及びハンガリーの柔道・フェンシングの事前キャンプに向けた気運醸成、国際理解促進、あとは子供たちへの夢と希望を与える等を目的とし、区内関係団体だけではなく、こちらにつきましてはハンガリーの関係団体とも連携をしつつ、イベントを検討していくというものでございます。

実施概要(案)でございます。

11月30日、土曜日を予定しております。

場所は滝野川体育館、こちら、ハンガリーの柔道の事前キャンプの会場でございますので、こちらで行いたいと。

内容につきましては、まだまだ全然固まっていないことですが、例示ということで、オリンピックとの交流、こちらはハンガリーのオリンピックですね。ハンガリーの文化紹介をやったり、ハンガリーフェンシング・柔道の応援につながるようなイベントを考えてございます。やはりこういったイベントの中で、ハンガリーの選手に触れ合ったり、

そういったことがあると、来年の本番の大会についても、単純にハンガリーを応援してくださいではなくて、やはり気持ちがハンガリーの選手も応援するぞというような気持ちも出てくるかなと思いますので、あくまでも来年の2020に向けての取組みというようなことをしっかりと注意しながら進めていきたいと思っています。

こちらにつきましては、名称がハンガリーイベントと、仮称でございますがうたってございます。直接的にオリンピック・パラリンピックというよりは、あくまでもハンガリーとの交流というところに重点を置きたいと思っていますので、こちらも一定程度、ブランド保護というところはかかってくるかなと思っておりますが、なるべく自由にやっていきたいなと思っていますので、まだまだちょっとお時間はございますけれども、こちらにつきましては特に皆様方と一体となってやっていきたいなと思っておりますので、よろしくをお願いします。

以上でございます。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

では、こちらに関する質問、ご意見等ございますでしょうか。

これはちなみに、区民の皆さんはハンガリーのいわゆるホストタウンというか、そういうことになっているということに対して、どのくらいの方がご存じですか。

委員さんの皆さんの中でどれだけ。

僕は今回は座長ですから、あまり意見を出さないほうがいいんですけども、これはこれとしていいんですが、例えばほかのホストタウンなんかは、学校給食にお呼びする国のメニューを取り入れて、うちのまちにこういう国の人たちが来るんだよということを小・中学生に知らしめたりとかということをするんですが、何かそういうことで工夫をされないと、なかなか本心からウェルカムハンガリーというふうにはならないのかなという感じがしますね。

【事務局】 今、ご紹介いただいた給食の話とかは、実は後ほど、ちょっとご報告事項ということでさせていただきますので。まさに、これだけだと来た人にしか伝わらないとい

うところもございますので、いろいろまた検討していきたいと思えます。

【齊藤座長】 では、これに関してはよろしいですか、進めるという、交流を中心にといいことだと思えるのですが。

では、お認めいただいたということにしたいと思えます。

では、これで協議事項は終了で、次は報告事項に移ります。

報告事項の（1）その他の取組みについてということで、こちら事務局からご説明願います。

【事務局】 それでは、続きまして、その他の取組みについてでございます。

資料4（報告事項）というものをお手元にご用意ください。

その他の取組みについてということでございます。

1番、聖火リレーについてでございます。こちらは6月1日に大会組織委員会から聖火リレーのランナーの一般公募と、日程、そしてルートの概要が示されたというところでございます。

北区内のオリンピックの聖火リレーは、7月19日、日曜日でございます。

ルートの概要、順番でございますが、豊島区、板橋区、北区、足立区の順番になってございます。今のところ発表されているのはルートの、こういった日程と順番だけでございます。今のところ発表されているのはルートの、こういった日程と順番だけでございます。今、実際の北区内でどの道路を通るのかというルートの詳細につきましては、本年の12月ごろ発表されるという予定でございます。

また、ランナーの一般公募でございますが、今回、一般公募としまして、スポンサー4社、そして各都道府県の実行委員会で公募をかけるというものでございます。従いまして、スポンサー4社と都道府県の実行委員会、こちらについては複数じゃなくて1カ所だけということになりますので、皆様方、全部で5回申し込めるというものでございます。5回申し込んでも、5回走れるというものではなくて、選考の中でしっかりと重複につきましては確認されて、1回だけ走れるようになるというものでございますので、ぜひ皆様方に応募していただきたいと。

区としましても、あくまでも東京都であったり、スポンサーが募集するものでございますが、広報紙等でしっかりと周知していきたいなと思っております。

聖火リレーについてのご報告は以上です。

続きまして、2番目、東京2020大会1年前記念カウントダウンイベントの実施についてということでございますが、こちらは資料4-1をご覧ください。

7月24日開幕ということで、その1年前という節目にスポーツイベントを開催するというものでございます。

概要でございますが、名称は現在のところ、ちょっと変わる予定がございますので仮称ということで1年前記念イベントで、主催は北区でございます。

日程なんですけれども、8月4日、10時から15時30分を予定しております。

会場は赤羽体育館で、対象なんですけれども、参加自由のものと、一部、申し込み制のものがございます。

参加いただくアスリートはお示しのとおりでございますが、末續慎吾さんにおきましては、この間、銀メダル、銅メダルから銀メダルになったというところで、いろいろ話題になっているというところであったり、大山加奈さんは、今、組織委員会のほうでやっているいろいろな活動などに参加いただいているというようなところもございますので、今回、ご協力いただけるということで、大変うれしく思っているところでございます。

イベントの概要、(2)番でございますが、オープニングセレモニー、こちらは吹奏楽等の演奏などを検討しているところでございます。

アスリートのトークショーということで、末續慎吾選手と大山加奈さんのオリンピックによるトークショー、そしてスポーツ教室、こちらは参加アスリートでご紹介させていただいた方々をお願いをしているところでございます。こちらは事前申し込み制となっております。

4番目のオリンピック・パラリンピック競技体験ブース、こちらにつきましては自由参加ということでございます。特に今回、今までやっていなかったスポーツライミング、

アーチェリー、トランポリンなどがございますので、そちらも積極的に情報発信して、いろいろな方の参加を呼びかけてまいりたいと思っております。

また、ハンガリーに関する展示、こちらはハンガリーの大使館、かなりの全面協力ということで、いろいろなものをお借りしながら展示していきたいと。

あとは、隣の志茂東公園で飲食ブースをご提供させていただくというものでございます。3番ですね、今後の予定でございます。

6月、区議会の概要報告と、7月になりましたら、予定としましては7月1日に北区ニュースに掲載を予定しております。また、イベントのチラシの配布を予定しておりますが、こちらは区立の学校の児童・生徒さんに1枚ずつ配る予定でございます。また、もう既にフェイスブックでは順次情報発信させていただいておりますので、また広く広報をさせていただきたいと思っております。皆様方もフェイスブック等、いろいろ拡散していただくとか、いろんなところでご紹介いただければと思っております。

なお、裏面には、ご参加いただくアスリートの紹介をさせていただきましたので、後ほどご覧いただければと思います。

資料4-1は以上でございます、また資料4、その他の取組みについてにお戻りください。

3番、その他のイベントということでご紹介させていただきます。

6月中にはナショナルトレーニングセンターの拡充棟、西が丘の拡充棟が完成予定でございます。

7月下旬には、冒頭ご紹介いただきました東京都障害者総合スポーツセンターの全面リニューアルということで、7月28日の、ちょうどチラシのご紹介があるのかなと思います、イベント等を行う予定です。

9月2日、月曜日でございますが、ハンガリーの柔道関係者との交流会というのを予定しております。こちらが、8月の下旬に柔道世界選手権が日本でございます。そちらに参加いただいたハンガリーの柔道の選手、少し滞在を延ばしていただきまして、予定では滝

野川体育館を検討しているんですけれども、そちらのほうで柔道の交流会を中心としたものをやっていきたいなと思っていますところでございます。

そして、10月20日は、北区ニュースのハンガリー特集号というものを発行予定でございます。こちらもハンガリー大使館に取材に行ったりとか、取材に行くのも、今、大学との連携で行っています#ときおばで、学生さんたちにもご協力いただきながらというところで、いろいろと工夫しながらちょっと作り込んでいきたいと。

そして、10月と11月、先ほど座長からちょっとご紹介いただいたとおりのものですが、学校給食におけるハンガリー食の提供、こちらは区立の小・中学校に既にお願いをしております、こちらは任意ということなんですけれども、ご提供いただいて、協力いただけたところにつきましては、ハンガリーの関係者と一緒取材に行ったりということで、広く周知していきたいと思っていますところでございます。

報告事項、資料4につきましては以上でございます。

【齊藤座長】 ただいまの報告に関して、ご質問等ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

【河村委員】 私、日本スポーツ振興センターの河村と申します。まず、冒頭おくれまして申しわけございませんでした。

この3のところ、その他イベントのところの一番上に書いてありますナショナルトレーニングセンター、北区西が丘にございますが、そこを所有している法人でございます。

ここに記載のございますとおり、現在、文部科学省さんのほうが建物の建築をしております、おおむね6月末の完成ということで準備が進んでおります。その後、私どもも、また施設の利用の準備とかを始めまして、大きい、何か式典とかそういうものも、秋口ぐらいをめどに少し準備をしようかと考えているところでございますので、ちょっとご紹介をいただきましたので、一応お話ししよう。

あと、もう一点でございます。

例年、体育の日、今年ですと10月14日の月曜日、祝日になりますけれども、例年私ども

のところで、これもまた文部科学省さんと、あるいはスポーツ関係の団体の方と一緒に、体育の日の中央イベントということでやらせていただいております。私どもの施設のところには、各競技のトレーニング施設、体育館がございます。そこにおきまして、小学生の方を中心にスポーツ教室、実際にはOB、現役もたまにはいるんですけども、そんなことをやれる教室を設けておりまして、またこちらも、北区の方については少し優先枠を設けながらご参加いただけるようなことも準備いたしますので、ちょっとまだ準備段階でこちらも資料がなかったものですから、次回以降の会ときにはご提供申し上げまして、皆様のほうにもご理解をいただければと思います。

すいません、よろしくお願ひします。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

そのほか、なければ。

事務局。

【事務局】 スポーツ祭りにつきましては全面的に協力させていただきますので、よろしくお願ひします。

それから、すいません、資料にはちょっと記載がないんですけども、取組みということで2点ご紹介させていただきます。

まず6月19日、こちらはお手元に、北自連の北区町会自治会連合会の主催のイベントがございます。チラシにもちょっと文字でオリンピック・パラリンピックに関するブースもありますと書いてございますが、ちょっと天候が怪しいところはございますが、一応、オリンピック・パラリンピック関係でいきますと、屋外の入り口のところに、従来のようなチラシの配布だけではということで、今回、北区で進めております車いすフェンシング、実物を持ってきて少し体験してもらおうかなというようなもの、なかなか触れることのないサーベル等も触れられる、安全にも配慮しながらというところを今ちょっと準備しているところなんです。ちょっと天候によっては若干内容が変更になるかもしれませんが、そういった形で北自連の町会自治会とも、今現在、連携しているというところなんです。

もう1点、こちらも町会自治会関係でございますが、こちらは公共施設に張ってあるかと思いますが、北区がオリジナルにつくったエンブレムのポスター、そのA4判のチラシでございます。こちらを7月24日が1年前ということで、東京都も含めて全国的に1年前のPR推奨期間というものがございますので、その期間、町会自治会の掲示板に、ちょっとサイズは掲示板の都合もございますのでこのサイズになってしまうのですけれども、全ての掲示板、およそ2,000個ぐらいあるのかな、というところで、掲出をご協力いただくということをお願いしていきたいと思っております。

なお、こちらは、こういったものをいろんなところに貼りたいなと、例えば自宅であったり、町会自治会の会館はどうかという話もあったんですけれども、町会自治会の会館ですと大丈夫かなと私も思っていたんですけれども、どうもやはり主体があくまでも自治体じゃないと、このエンブレムが使えないというところ、また会館につきましても、区の自治体の所有じゃないとだめですよみたいな形で、ちょっと問い合わせたら、そういった回答もあったところで、本当は区としましても、いろんなところにこういった気運醸成で掲出していきたいというところがございますが、なかなか制約がある中でというところで、何とか掲示板はできそうだというところで、やってきたいなと思っております。

その中で、先ほどご紹介いただいた商店街のフラッグというところは、なかなか大々的な取り組みかなと思っておりますので、またそういったルール範囲でというところではございますが、できるものをちょっと見つけたらいろいろやっていきたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

すいません、追加のご報告でした。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

あと特になければ、この内容をご理解いただいたということによろしいでしょうか。

ありがとうございます。

では、報告事項はあと1点ございますが、(3)500日前記念イベントの実績の報告について、こちらのほうをお願いいたします。

【事務局】 資料5ですね、こちらは北区のホームページの抜粋でございますが、3月31日に行いました桜ウォークと500日前イベントの連動企画の実施報告となっております。

中身につきましては、後ほどご高覧いただければいいかなと思いますが、今回につきましては、約1,100人の方にご来場いただきました。また、こちらの1,100人というのは、あくまでも500日前記念イベントの各種ブース等にご来場いただいた方の集計というふうになってございますが、実際は桜ウォークというところでおよそ2,600人ぐらい参加されたうち、ルートが2つございまして、区役所にUターンするコースと、トレセン通りを通過して赤スポまでお越しいただくというコース。それで、赤スポまでお越しいただいたのがおよそ2,000人ぐらいと聞いております。

このルートの中では、トレセンの周り、ちょうど桜が見ごろだったところで、ぐるっと1周回るといようなコースもございましたので、そのアンケートの中では初めて来たとか、そういうようなお声も多かったようでございますので、まだまだこれから、トレセン通りも含めてPRしていく部分があるのかなと思っているところでございます。後ほど詳細はご高覧いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

何か質問はありますでしょうか。よろしいですか。

では、報告事項は以上になりますので、続いて大きい5番目になりますが、各団体・機関からの報告ということで、先ほど河村委員さんのほうからもありましたが、どこかの各団体さんのほうで何か報告等がございましたら、この場でご紹介されてはと思いますが。

お願いいたします。

【越野委員】 東京商工会議所並びに東京商工会議所北支部でございます。

今、お手元に3点の資料を配らせていただいております。

まず第1は、これはご報告になりますが、6月10日に全国商工業者による2020年に向けた決起大会ということで、帝国ホテルで700名以上の方がお集まりいただきまして開催を

いたしました。森組織委員長、小池都知事を初め、ご来賓がお見えになりまして、ニュースでもやっておりましたのでご存じの方も多いかなというふうに思っております。

内容は、ここに示させていただきましたが、その中で、1枚めくっていただきますと Road to Tokyo 2020 というのがございますが、これは東京都からご説明がございました。それぞれに参加をできるようなものもあると思いますし、この辺、今日のリレーションシップ委員会にご参加の皆様にもちょっと読んでいただければ、何かできることがおありになるかなというふうには思っております。

それから、次に、2枚目でございますが、裏表カラー刷りのものでございまして、東京2020 PRステーションでございます。

こちらの東京商工会議所の本部は、お堀端のところにあるものでございますが、こちらの1階を2020のPRステーションという形でやっております、さまざまな展示物がございます。何というんでしたっけ、泳ぐ格好をしたりとか、ヒストグラムでしたっけ、何でしたっけ、何か一目見て競技のわかる——ピクトグラム、そういうののいろんな原形が飾ってあったりとか、なかなか、2度も3度も行くとおもしろいところじゃありませんが、なかなかおもしろいです。

それで、目玉は、この写真のところにも出ておりますが、聖火のトーチが持てますよと。かたっというて、この辺までしか持てないんですけれども、案外軽いんですよ。それから、上が桜の模様になっているとかというのが見えたりということで、9月30日までやってございますので、ぜひお近くに行かれた方はお運びをいただければなというふうに思っております。可能であれば、チラシをまた用意しますので、この1年前イベントとか、そういうときにちょっとお配りいただいたりとかということで、気運醸成に使っていただければと思います。

それから、3枚目は、これは商工会議所の会員の北支部の会員1,800名に向けてしたんですが、オーストリア・ハンガリー交流・視察会ということで、来月11日から17日まで、主にはハンガリーなんですけど、行ってまいります。

こちらは、柔道の大会とフェンシングの大会、ヨーロッパ選手権、オリ・パラのほうにもお耳に入っていると思いますが、こちらの視察、それからあちらの競技委員会の会長さんたちとの面談ですとか、そのほか、ハンガリーのいろいろな情報を集めて、この後の私どもでご協力できることには、どういうところがあるのかという視察を試みたいと思っております。飲食関係の方もいらっしゃいますし、いろいろブースで出す料理だとか、いろんなことを含めて勉強させていただきたいというふうに思っております。

これも、さっき申し上げましたように、行かれる方は10人、11、12人というぐらいのところなんですけれども、これを要するに皆さんに知らしめて、まさにさっき座長からもご質問ありましたけれども、これを見て何でハンガリーに行くのという、東商で何でハンガリーに行くのという質問があるんですね。それでかくかくしかじかという、ああ、そういえばそんなことを言っていたねみたいなの、そういうことの繰り返しだろうと思ひまして、最初から、そんな30人も40人も集まるとは全然思っていないんですが、そういうことも含めてやっているということはお話しておきたいと思ひます。

それで先ほどの、もう基本的にはご承認といいますか、させていただいたんですが、イベントとしてハンガリーの関連イベント、それからその他のイベントということで、非常に充実した形になってくると思うんですけれども、ぜひ、これはどっちかというオリ・パラさんだけというよりは、政策経営部さんのほうにもお願いすることかなと思ひますが、ぜひ、官民でやるものを1つの形にして、お互いにお互いのところで発信し合えとか、それからきょうスケジュールをかなり早目に明らかにさせていただきましたので、例えば11月30日にハンガリーイベントがあるよということだとしたら、この手前のところから、尾花さんなんかともご相談して、例えば我々の商店街の飲食にハンガリーの飲食の何かフェアみたいなのをやるとか、ハンガリーのマンガリツツァ豚だとか、おいしい食材を使った料理をキャンペーン的にやっていくとか、そういうのをぶつけていくとかということだったらできると思ひます。

それと同時に、ことしはハンガリーと日本の修好150周年となつていまして、これはも

う外務省がほとんど、ちゃんと形になっていけば間違いなくつけてくれるんですね、冠を。だから、これはもうブダペストの交響楽団が来たときに、これがそういうふうになっていましたけれども、ですから北区が主体でやる、何かイベントみたいなものを1つその冠にさせていただいて、個別にこれはやっていくものについて、その旗が使えると、文化振興財団の石山さん、見えていますけれども、文化振興財団を含めて、そういうような形になると、非常にハンガリーのアピールもしていけるので。

同時に、これは10月に、ハンガリーと日本の修好150周年の特別切手が出るんですよ。これは、この間、郵便局へ行ったらフィンランドか何かの切手があったので、これは絶対ハンガリーもあるよなと思って調べたら10月にあるんですね。僕は、東商は郵便局に行つて、発売になったら大量に買い込んで、オリンピックまでずっとその切手を使わせようと思っていますが、ぜひ役所もそういうふうにやっていただけたらいいと思うんですよ。無駄になるものじゃありませんから、ちょうど消費税もかわった後で、どうせ切手を買いかえなきゃいけないあれがあると思いますので、もうとにかく、84円の切手だったと思いますが、役所から来る封書にはみんなハンガリーと書いてあるというふうに見れば、またこれは何という話になるわけで、これは東商は絶対やりますので、ぜひそのキャンペーンをですね。これはみんな大量に買おうとしたら、早いうちに郵政省に言っておかないと間に合いませんから、特別切手って大して出しませんので、取りまとめてどのぐらいになるのかというのを、早速これは日本郵便さんと、日本郵便さん、王子郵便局は東商の会員でもございますので、ちょっとお打ち合わせをして、どういうふうな形ができるかというのをまず東商がやってみますので、お役所も、全部でやるのが無理であれば部門でも結構だと思いますし、何でもいいんですが、ぜひやっていただきたいし、できるだけ皆さん、この切手を買ってくださいよというキャンペーンを区民にやるだけで全然アピールできるし、これは一銭もかからないんですよ、ただ切手を買っていただくだけなので。ということ、ちょっとやろうかなというふうに今思っているところでございます。

また、ハンガリーへ行ってきて、いろいろとご報告、また意見交換をさせていただけれ

ばと思っております。

以上です。

【齊藤座長】 ご案内ありがとうございます。

切手のアイデアっていいですね。あとこの旅行、授業がなければ私も行きたいなど。

【越野委員】 ぜひお願いします。まだ、来週早々ぐらいまでは特別に。一応、締め切っているんですけども、ぜひよろしく。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

そのほかにインフォメーションございますでしょうか。

お願いいたします。

【清水（恒）委員】 北区青少年委員会の清水と申しますけれども、ちょっと宣伝をさせていたいただきたいと思います。

青少年委員会では、毎年飛鳥山で親子でチャレンジ飛鳥山というイベントを行っております。2年に1回ずつ、サブテーマをかえて行っておるんですけども、今年と来年は、君も選手だ2020、ちょっとまだ相談してみないといけないと思うんですけども、君も選手だ何とか、それで、アスカリンピック飛鳥山、何かもっと語呂のいいようにしようと思っているんですけども、それをやろうと思っています。

大体、今年は11月24日なんですけれども、区長さんを初め教育長、教育委員の先生方もみんな含めて参加していただけますので、そのときに、この大会は親子で協力していろいろなゲームやクイズに挑戦して、それで1日楽しんでもらおうというような会なんですけれども、その中で、今年はオリンピック・パラリンピックにちなんだゲーム、クイズをつくっていかうと思っています。そのいろいろなゲーム、クイズは、我々青少年委員の手づくりで、本当に大工さんとかいろいろ、学校の先生とかいろいろそのメンバーにはいるんですけども、それぞれの手づくりでやろうと思っております。

それで、まだ中身はあんまり決まっていらないんですけども、毎年やっている中で、実寸大の紙相撲というのをやっているんですね。実寸大、我々ぐらいの、私がやるわけじゃ

ないですよ、その紙相撲で、みんなでやぐらを組んで、本当にでかいやぐらを組んで、どんどん、どんどん叩いてやっているのがすごく子供に人気があるんですけれども、それを今年はハンガリーの柔道でやってみようかなというようなことも考えております。

あと、まだまだ楽しいゲームを考えていこうと思いますので、皆さん、もしよかったら11月24日、来ていただければと思います。いろいろ損なわないようにしていこうと思いますので、これからもこの事務局と相談しながらやっていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

そのほかはいかがでしょうか。

障害者スポーツセンターのほうのチラシもございますが、高山委員さんもいかがですか。

【高山委員】 先ほどご紹介いたしました、私どものスポーツセンターの開所式は、ここで、東京には2つのスポーツセンターがリニューアルオープンされていまして、ピンク色のほうは東京都障害者総合スポーツセンター、7月28日に予定しております。

裏面に、私どもスポーツセンターは障害者専用施設と言われていますが、実は日ごろから障害がない人も受け入れてのスポーツ行事とか事業を多く行っております。この開所式も、7月28日、体育館、多目的室、プール、運動場、テニスコートでそれぞれイベント教室をとっておりますので、障害のない人も自由に参加できますのでぜひご来館ください。

以上です。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

そのほかございますでしょうか。

よろしいですか。

今、幾つかオリ・パラ関係の活動をご紹介いただきましたけれども、できれば、この会はリレーションシップ協議会となっておりますけれども、各関係団体の皆さんから、こういう取組みをオリ・パラに対してやっていますよというような、そういった情報がここで生きればいいかなというふうに個人的には感じております。ありがとうございます。

では、次は6番、今後のスケジュールの確認ということで、事務局からお願いします。

【事務局】 今後のスケジュールでございますが、次回開催予定日、皆様のご都合もございませうということで、早目にお知らせをさせていただきます。

次第のところ記載でございます。

9月6日、金曜日、午後7時から、北とぴあ7階第2研修室で行いたいと思いますので、ぜひご出席いただければと思っておりますので、またいろいろないいお話、いい意見交換ができればなと思っておりますので、よろしくをお願いします。

それと、地域振興部長の関根がちょっと冒頭、おくれて……

【事務局】 おくれてまいりました、すいません。

ちょっとご挨拶をさせていただきます。

この4月から地域振興部長になりました関根と申します。

3月までは浅川地域振興部長でございましたので、かわってということでございます。

皆様方におかれましては、本当に日ごろから北区のオリンピック・パラリンピックなど、多方面にわたってお世話になってございます。心から感謝を申し上げます。また、今日も大変忙しい中、この夜遅い時間に皆様にはお集まりいただきまして、大変ありがとうございます。

私も、実はオリンピック・パラリンピック担当課長が北区にできたのが平成25年11月でした。その11月のその時点での担当課長は私という御縁がありまして、その後、引き継がれて、今、上里のほうで課長を担当しているというような状況でございます。縁があったということで、またこのように戻ってまいりましたので、今後ともよろしく願いいたします。

ありがとうございました。

【事務局】 すいません、ご紹介が遅くなりました。小学校のPTA連合会から森委員にお越しいただいておりますので、ご挨拶をお願いいたします。

【森委員】 皆さん、こんばんは。大変遅くなりまして申しわけございませんでした。私

は本年度、北区の小学校PTAの連合会の会長となっております森と申します。

私、昨年から、二村会長率いるスポーツ推進委員の委員として活動もさせていただいていまして、1年間、取組みをしている中でリレーションは、特に高山さんもいらっしゃる障害者スポーツの行事の体験する1年でありまして、それをそのままいつもスポーツを推進、推奨している北区のスポーツ推進委員にとってあまり知らないというところがありまして、そこの新しい発見を、ぜひ、1年目はスポーツ推進委員の中で広げて、2年目以降はやっぱり、できればいろんなところでやっているイベント、特にオリンピック・パラリンピックイベントの中で、2つのカテゴリーのものがあるんだよというふうなところを宣伝して回る1年になっていきたいなと思いながら、小学校のことも入ってきてしまいました、またさらに小学校での活動の中でいろんな形の、できることって、案内とか告知ぐらいしかできないかもしれませんが、じゃ、かたやPTAとしては、いろんな母親スポーツと称して、男性も含めてバドミントン、バレー、卓球とかいうイベントは、もう年に5回も6回もやっていますので、そういったところから、ちょっとハンガリーのことを言ってみるといっても1つのような気がしましたし、さっきの話で言えば、北区民まつりとか、ああいうようなところでもうぽんと、1つのステージで何かやってみてもおもしろいのかなんていうふうに思っています。

やっぱりリレーションって、2つのそれぞれは混じり合わないようなことが、そのところで預かってやってみるといのが1つだと思いますので、僕はPTAのことで出ていますので、小学校のほうでもうまく巻き込んでいただけたらおもしろいかなと思っています。

1年、どうぞよろしく申し上げます。

【齊藤座長】 全体を締めるようなご挨拶をいただきまして、ありがとうございます。

では、皆さんのほうで何か、そのほかございますでしょうか。

事務局は何かありますか。

【事務局】 特にございません。

【齊藤座長】 よろしいですか。

では、ないということでしたら、これにて第6回の北区リレーションシップ協議会のほうを閉じたいと思います。

ありがとうございました。

午後8時30分閉会